

アパレル向け サステナビリティKPI整備チェックリスト

2027年の報告に、今から備えるための実務チェックリスト

全11項目 / 該当しない項目が多いほど、今が始めどき

A

データの土台

まずここから

- ☐ 商品1点ごとに「現在の状態（貸出中／返却／検品済／再販／廃棄）」を記録しているか
- ☐ 商品ごとの「累計循環回数」を持っているか
- ☐ 返品に「検品グレード」を付与し、再販／再貸出／廃棄の分岐を履歴に残しているか
- ☐ 商品の「最終処分区分」を必須項目にしているか（空欄は廃棄回避率を壊す）

B

5つのKPIの計測可否

- ☐ **KPI1** 製品ライフサイクル循環率 を算出できるか
- ☐ **KPI2** 返品在庫の再販率 を算出できるか
- ☐ **KPI3** 1顧客あたりの年間着用回数 を算出できるか
- ☐ **KPI4** 廃棄回避率（点数・重量）を算出できるか
- ☐ **KPI5** LTV×サステナビリティ寄与 を会員セグメント別に見られるか

C

報告・対外対応

- ☐ 取引先（大企業）からのスコープ3データ要請に、既存データで応えられるか
- ☐ EU向け販売がある場合、材料構成・供給網・循環可能性を出せるか

整えるべきは「レポート機能」ではなく「運用データが正しく貯まる状態」。

Circleは4つの収益モデル（レンタル／通常購入／レンタル中の購入／返却品の再販）を1つの基盤で運用し、A・Bのデータを日々の運用の副産物として蓄積します。CO₂・金額への換算は各社のLCA／会計で行い、その一次データとしてこの運用ログを使います。

自社の在庫でどのKPIが取れるか、20分で相談 → circle-saas.jp/contact

本チェックリストは一般的な情報提供であり、法務・会計・税務上の助言ではありません。適用対象・時期・要件は制度設計の過程で変わり得ます。最新の要件はSSBJ・金融庁・欧州委員会など各当局の一次情報をご確認ください。